



26年度 第4号  
通巻1826号

発行所:  
高知県教職員組合  
〒780-0850  
高知市丸ノ内2-1-10  
TEL088-822-4135  
FAX088-823-2355

全教職員  
配布  
読んでね

県教組HPは

↓こちらから



# 同僚に耳を傾け、共に考え、信頼に！ 県教組大会で様々な活動交流

6月27日(土)、高知県教組は第103回定期大会を開催しました。学校現場の状況を報告したり、現場教職員の願いに応える分会や専門部のとりくみを発言したり、合わせて27本の活発な討論が行われました。そして、25年度の運動の総括や26年度の運動方針・予算を決定しました。今回は昨年度加入した組合員が代議員になり討論に参加するという場面もありました。新しい組合の風が吹きはじめられています。以下、代議員の発言の中から、特徴的なものを紹介します。

【高知市】【香美市長】 【高岡】(まとめ)  
チーム担任制の問題点について。現在、県内で指定を受けた小学校で取り組みが進んでいる。全国的には効果があつたというが、何か問題があれば、常に学年の担任全員が対応に動かなければならず、負担は増えている。また、2クラスを3人で交代しながら担任をしている学校で、

一人の先生が休むことになってしまい、結局、チーム担任制自体が破綻してしまっている。課題についてもしっかりと評価していく必要がある。

【高校】  
憲法や平和、教育をめぐる情勢が大きな転換点にあることへの危機感がある。子どもたちのための教育と県民の命を守る視点を最優先に据えるべきであり、そのためにも学び、声を上げ、行動し、仲間を増やしていくことが重要である。



【安芸】  
課題解決応援加配

職場での組織拡大のとりくみについて。新規採用者を中心に積極的な声をかけることで、本人の「学びたい」「成長したい」という思いから加入につながることもある。「声をかけられていないだけ」という先生は大勢いる。

【高岡】  
ICT活用について、タブレットの活用が目的化し、子ども同士の対話や思考を深める学びが十分保障されていない現状に課題がある。また、「気持ちメーカー」の運用では、入力確認や報告業務が教員の負担となり、子どもと向き合う時間や教材研究の時間が削られている実態がある。現場の教員で改善案を学校へ提出した結果、一部運用が見直された。納得できないことには現場から声を上げ続けることが教育を守る力になる。

【高岡】  
ICT活用について、タブレットの活用が目的化し、子ども同士の対話や思考を深める学びが十分保障されていない現状に課題がある。また、「気持ちメーカー」の運用では、入力確認や報告業務が教員の負担となり、子どもと向き合う時間や教材研究の時間が削られている実態がある。現場の教員で改善案を学校へ提出した結果、一部運用が見直された。納得できないことには現場から声を上げ続けることが教育を守る力になる。

【情報提供発言】(まとめ)  
距離制限がなくなり、短距離の移動についても旅費が出るようになったことは、兼務校が多い場合には事務作業が煩雑になり、

お城下  
給食が大好き。職場に着いたら、まず、今日の給食を確認。カレーならばその日は朝からウキウキとも給食の話。「先生もおかわりしたい？」  
「先生はいっぱい入れるき、いかん」などという他愛もない会話が楽しい▼放課後は栄養教諭の先生と給食についておしゃべりも▼6月23日、配膳された給食を見て「ああ、今日は『沖禊霊の日』か」と呟いた。「何それ？」と子ども達。「今日の放送、ちゃんと聞きよってみや」子ども達と放送を聞いた▼次の日の社会の授業では、沖繩の基地の話もした。子ども達にとっては難しい問題。でも、知って考えることは大切だと思ふ▼授業の後、「先生、おれのおばあちゃんちの近くでも戦闘機が飛びゆうらしいで」ある子どもが私に話しかけてきた▼給食から平和へ子ども達との交流。食は文化。歴史や営みも背景に。やっぱり食は大切。(植)



かえって移動がやりにくくなっている。例えば、兼務が多い栄養教諭では、勤務校・給食センター・兼務校を行き来し、職員会や給食指導のたびに出張手続きが必要となる。専科授業などで小中学校兼務の場合にも、同様。教職員・事務職双方の負担が増加している。また、学校とのつながりや様々な職種との連携が取りづらくなり、必要な情報共有にも支障が生じている。一方、予算が十分確保されていないことが課題である。改善を求めて

【高知市】

水泳授業中の事故について、原因究明や再発防止策に加え、事故を経験した教職員への支援や検証結果を現場全体で共有することが大切である。事故後に見えた課題を今後の安全対策に生かすためにも、検証結果や裁判の動向を注視し、安全な教育活動につなげていく必要がある。

【高校】

育児休業代替教職員の前倒し配置について、4月から代替者が配置され、現場では助かったとの声が上がっている。一方で、制度を十分活用するには、管理職による早期の対象者把握と教

育委員会への適切な報告が不可欠である。現場の実態に即した制度の活用と改善を求めて

【青年】

支部を越えたつながりを広げることが大切。福島で復興の現状や課題を学び、青年部の仲間との交流を通して多くの学びを得た経験を紹介し、また、平和学習に参加して学びを学校現場へ還元している。こうした取り組みを支える職場の理解と仲間とのつながりを広げていきたい。

【高知市】

教員不足について、多くの学校が時間講師や退職教職員に依存している。教員不足を根本的に解決するには、教職員の賃金改善と業務量の削減を進めるとともに、教職員を増やし、安心して働き続けられる勤務環境を整備することが重要だ。

【高岡】

平和教育の実践について。修学旅行や「家族に聞いた戦争」の学習を通して、子どもが自分の言葉で平和について考え、発信することを大切

にしている。また、その実践を若い教職員が引き継ぎ、新たな学習へ発展させている。今こそ、学校現場から平和教育をなくさず継承していく必要がある。あわせて、地域では退職

教職員が一人ひとりに参加を呼びかけることで平和運動が広がっている。そのネットワークを生かしながら教育運動をさらに発展させていく必要がある。

【高校】 「九条の碑を高知の町に」運動にとりくんでいる。憲法施行80周年を記念した碑の建立に向け、運動を継続中。多くの仲間に参加・協力をしてほしい。

子連、市町村教委を訪問・懇談  
様々な声を集める！

子どもと教育を守る高知県連絡会（略称…子連）では、市町村教育委員会を訪問し、懇談するキャラバンを26年度も、5月の連休明けから5月末までの間にとりくみました。

県内35地教委の内31地教委を訪問することができました。お忙しい時期にもかかわらず29地教委の教育長、2地教委の教育次長（教育長が出張中や直前に辞任）をはじめ、68名の教育委員会職員の方に対応していただきました。子連側は、役員を中心に訪問体制を組み、その地域の退職教職員や保護者の方の参加を含め、のべ107名が参加しました。

26年度の懇談テーマは、①デジタル教育のとりくみについて、②学校（教職員）の働き方改革についてでした。

①デジタル教育  
すべての地教委が25年度から26年度

（予定も含め）にかけて機器を更新し、一人一台端末（タブレット）の整備を続けていきました。そして、ほとんどでドリルソフトと学習・授業支援ソフトを導入してしました。なお、

タブレットの持ち帰りでの宿題が強制されていないかということについては、ほとんどの教育長が授業での活用、持ち帰りについては強制していないし、学校・教員に任せているとのことでした。中には、「タブレット使用のための授業がみられ、手段と目的を混同していることが課題である」「保護者からフィードバックの対象にならないサイトやゲームばかりするとの苦情があり、小学校では持ち帰りをやめている」「持ち帰りは小学校5年生からにしていく」との地教委もありました。一方、「毎時間使用しているわけではないが、学校訪問での参観授業ではすべてタブレットを使ってもらっている」としているところや、毎日のタブレットの持ち帰りを進めるために、家庭への充電器を配布している地教委や、荷物の重さ対策で教科書は学校に置いてお

いてもよいなどの学校もありました。もう一つの発達段階への配慮については、デジタル機器・教材による学習を強化することで、基礎学力や、3次元の世界で身体を使って獲得する能力が身につかないことが進行していった。これについては、『鉛筆などで紙に書くこと』『紙の本を読むこと』『筆算で計算すること』『身体全体で体験すること』の重要性を否定される地教委はなく、「アナログとデジタルのバランスが大事」という認識がほとんどでした。ただ、「早くから慣れさせるために低学年から活用が重要」との意見もありました。この点は、手書き、本読みなどを通じた学習が最重要と思われる小学校低学年で、その時間を削って「慣れさせる」ためとしてデジタル機器・教材の活用が進められるとしたら大きな問題である

らと思われました。なお、デジタル教科書、電子黒板の更新、教員用タブレット、校務用パソコンなどの整備に対する補助を国や県に要望すると発言するところが多かったです。中には、校務用スマホ、タブレットへのSIM装備、クラウド整備、公設塾の遠隔授業開設への補助や自治体全体の通信環境の整備について触れられるところがありました。ソフト面では、「学習支援ソフトや教科書会社のアプリごとに違う仕様を大まかにでも統一してほしい」「県教委が整備しているソフトについての研修を充実してほしい」「デジタル技術や活用リテラシーについての学習をもっと重視すべき」「生成AIの活用において著作権侵害があった場合の賠償に対応する支援を」などが出されました。

**②働き方改革**

25年度に改定された給特法で義務付け

られた「業務量管理・健康確保実施計画」(以下、計画)はすべての地教委で策定済みでした。計画のHPなどでの公開もほとんどの地教委で行われていました。その計画で実態分析にほとんどの地教委で使われている(文科省のひな型にあるため)「24年度の時間外在校等時間の月平均」は、改定給特法等の附則第3条第1項において、29年度までの目標とされた教育職員一人当たりの1か月時間外在校等時間の平均30時間程度を小学校、中学校とも超えているところがほとんどで、五十数時間のところもありました。小学校で課題となっているのが一人当たりの持ち時数の多さです。専科教員が配置されているところでも1日1時間程度の空き時間しかありません。専科教員の配置のないところではほとんど空き時間がありません。授業準備や、児童や保護

者へのケアは時間外にならざるを得ないのが現状です。やはり、担当する授業時数が減らされない限り根本的に解決しない問題で、市町村教委によるとりくみにも自ずと限界がありました。そのため、義務教育標準法の改正による基礎定数増や小規模校への配置基準の見直し、専科教員の加配などを強く求める声がありました。また、「計画」に「人的措置の拡充を行うこと」が必要と明記しているところもありました。中学校での主な課題は、ほとんどの地教委で部活動に関わる時間でした。小学校と同様の課題もあるうえに、部活動指導の問題があるため多くのところで中学校の時間外が小学校より長く、45時間超、80時間超の割合も高いのが特徴でした。平日に1日と土日のどちらかは休みとし、平日は2時間、休日

は3時間とする部活動ガイドラインが定着してきたと思われる中でもこうした現状でした。文科省は「31年度までに土日については、すべての部活動を地域クラブへ展開」とするスケジュールを改めて示しました。そうした中、土日だけではなく、地教委よっては平日も含め完全に地域展開している部活動もいくつあるところまでできています。しかし、まだ多くのところが指導者がいないこと、受け皿のないこと、広域での検討が必要なことから見通しが立っていないのが現状でした。そのため、「やるなら教員等の兼業に頼るしかない」「中山間地泣かせの課題であり、県の補助・支援が欲しい」「国の方向性がまだはっきりしていないように思うし、それでこれまでも地方は振り回されてきた」との声も寄せられました。また、「部活動は

教職員のための自動車保険は

# 全教自動車保険

教職員と家族を守って36年

WEBでかんたん見積依頼

右のQRコードから見積り依頼を→



学校に残し、外から人を入れるべき」「部活動指導があっても時間外とならないように人員を増やすべき」との声がある一方、「何とか学校から切り離すしかない」「教員の異動のことを考えると地域展開が必要である」との声もありました。なお、「高校の振興再編計画について」「教職員の配置について」「採用審査について」「課題解決した地教委もありま

した。子連では、今回のキャラバンで寄せられた要望などを、「ゆきとどいた教育をすすめるための請願署名」(12月県議会への請願予定)の内容や秋に予定される県教育長との懇談内容に反映させ、教育条件の整備・充実などに向けたとりくみをすすめるとともに、保護者、県民によびかける学習会なども計画していきたいと思います。(子連事務局長 石川真人)

高知県内にある道の駅巡り ④

1	2		3		4
5					
6		7		8	
		9			
10	11				12
13					

【タテのカギ】

- 1. 海で採れる魚や貝など
- 2. ただ一つの事のみを心を注ぐこと。
- 3. 思い通りには事が運ばず、○○○
- 4. 湯もみで有名、群馬県の温泉地
- 7. 腐っても○○
- 8. 夏休み！浮かれて○○をしないように注意あれ。
- 11. インドやパキスタン等の代表的なパンの一つ。給食にも時々。
- 12. くっつきワード きん○○、む○○

【ヨコのカギ】

- 1. 夏だ、休みだ、海だ！○○○○○○
- 5. ドイツ語では「アインス」、フランス語では「アン」、日本語は「ン」、日本語は「ン」
- 6. 母体と胎児を繋ぐへその緒に含まれる血液
- 9. チョウ目○○○科に属する蛾の総称。幼虫は毒虫。刺されないでね。
- 10. 読めるかな、山毛櫛
- 13. 衣服の裾が短くて、足が出ている様子。

【5月号の当選者】

「田野駅屋(たのえきや)」(田野町)でした。抽選の結果、次の3名が当選されました。おめでとうございます。

かつさん (野市中)  
西森純代さん (山田特支)  
ムンクさん (大月中)

かぎを解いて

二重枠に入る7文字で、高知県内にある「道の駅」の名前を作ってください(解答に「道の駅」とつける必要はありません)。

① 解合②郵便番号・住所③氏名(匿名希望の方はペンネーム可、ただし本名は忘れずにお書きください)④職場名⑤職場の話題か

【みなさんの声より】

○楽しく読ませてもらっています

○いつもクロスワード楽しみにしています

○職場は再任用の私をはじめ、アラ60の教員が数名おり、今後の働き方をどうするか、話題になることが多いです。

○働き方改革と学校経営計画にも出しているにも関わらず、教材研究の時間も学内で取ることが難しく、家で作るしかない状況です。平日は夜中まで、休日はほぼ授業作りに追われています。このような状況では、教員になりたいという人も減っていくのは仕方ないと思います。自分や周囲もいつ辞めようかとそればかりになっている状況です。

○気づけば早くも6月中旬です。夏休みが待ち遠しいです。

○先日行われた家族参観日。地域の方を講師に迎え、お菓子作りや伝統的な物作り、スポーツなどに触れながら親子で学ぶ、本校で長年続く

高知県教組女性部からみなさんへ アンケートへの協力をお願い

高知県教組女性部では、毎年、母性保護や権利行使ができる働きやすい職場作りを目指して、夏にアンケートに取り組んでいます。毎年、妊娠出産に関すること、パワハラ・セクハラなどの悩みに関すること、権利行使のことなど、いろいろな声が届けられています。それらの声をまとめ、人事委員会や県教委へ改善要求を行っています。夏休み中(締切8/20)の時間のある時に、ぜひご協力下さい。下記のQRコードからご参加下さい。個人が特定されることはありませんので、ぜひ忌憚のないご意見をお願いします。

★女性の方はこちら↓



★25年8月から今年7月までの期間に育休を取られた男性の方はこちらでお願い↑

メールはこちら



り口に巻き込まれていきます。う〜ん、政事(まつりごと)！

○高知県参与が県庁に週3日勤務して月43万、再任用で週5日勤務して月29万。残念である。

行事です。今年担任している4年生は、町の和菓子屋さんを講師に招き、紫陽花と青梅を模した和菓子作りに挑戦しました。紫陽花は、丸めた餡の周りに裏ごし器で粒状にした紫と白の餡を散りばめ、粒状の寒天を上に乗らして完成。青梅は丸めた餡を緑の餡で包み、気持ち長丸にして先を少し尖らせ、横に1本線を入れ、お尻に小さな穴を空けて仕上げました。どちらも初夏にぴたり。上品で優しい甘さも相まって、大好評でした。伝統的な和菓子作りの繊細さに触れられた、貴重なひとときとなりました。

○大好きな人も、好きでもない人も、サツカーワールドカップに巻き込まれています。まあ、お祭りですからね。賛同している人もそうでない人も、高市氏のや